

新型コロナウイルス感染症緊急対策 補正予算を承認

急施を要するため市長が専決処分^{*}を行った、感染拡大防止に向けた営業時間短縮協力金の支給(合計810億4,800万円)や新型コロナウイルスワクチン接種事業経費(15億3,467万円)などについて、2月25日の本会議で承認しました。



※議会を招集する時間的余裕がなく緊急を要する場合などに、議会が議決すべきことを市長が代わって意思決定すること。議会に報告し承認を求める必要がある。

議会改革の取り組み



新型コロナウイルス感染症対策として オンラインを活用した 委員会を開催

新型コロナウイルス感染症のまん延防止の観点等から昨年5月に会議規則の一部を改正し、オンラインを活用した委員会の開催が可能になりました。

令和3年2・3月市会では、委員の求めにより、オンラインを活用した常任委員会が開催され、オンラインで参加した委員が質疑を行いました。



オンラインを活用した常任委員会の様子

議会資料の ペーパーレス化に向けて

印刷物や経費の削減と事務の効率化を図るため、市会の会議において、タブレット端末を使用した議会資料のペーパーレス化に取り組んでいます。

令和3年2月から紙資料を併用して試行実施し、4月1日から本格実施します。

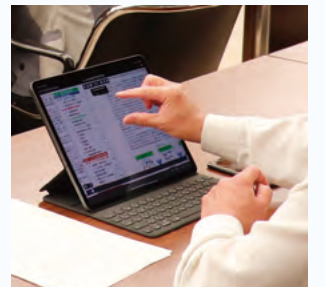


本会議でタブレット端末を使用している様子

全議員に端末を貸与し、文書共有システムを活用して、会議資料などを電子データで閲覧できるようにしています。

ペーパーレス化の効果

- 経費の削減効果
本格実施後のランニングコストは、従来の紙資料と比べて、予算ベースで年間約570万円の削減
- 印刷物の削減効果
年間約70万枚の削減
- 事務の効率化
印刷に係る事務や配付作業などの削減



2・3月市会 市会のうごき

- 2/10(水) **開会** 本会議(案件上程・付託など)
 17(水)~19(金) 常任委員会(付託案件の審査、請願書・陳情書の審査など)
 25(木) 本会議(付託案件の議決、予算案件上程など)
- 3/3(水) 本会議(代表質問)
 4(木) 本会議(代表質問、予算案件付託、追加案件上程・付託)
 5(金) 6常任委員会(予算案件等説明)
 10(水)・11(木)・12(金)・15(月) 6常任委員会(予算案件等質疑)

※令和3年2・3月市会(定例会第1回)は、3月26日に閉会(予定)です。予算案件の審査などの詳しい内容は、5月号でお知らせする予定です。

可決した意見書

意見書は可決後、国会及び関係行政庁に提出します。

- 性犯罪に関する刑法規定の見直しを求める意見書
- 大阪・関西万博の推進に関する意見書
- 性教育の充実を求める意見書

(以上、2月10日)

- 預託法等の改正及び執行強化を求める意見書

(2月25日)

市会と市長は、どういう関係!?

市会と市長

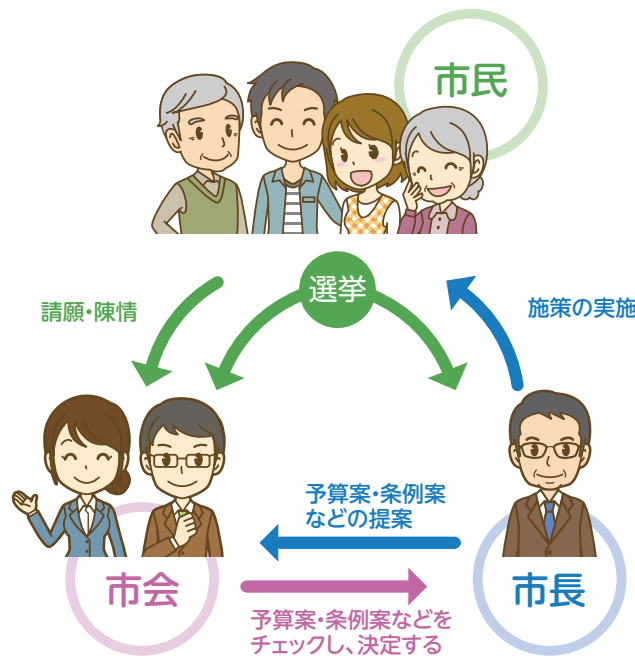
市会議員と市長は、市民の皆さんの代表としてそれぞれ選挙で選ばれます。

市会は、市長から提案された予算案や条例案をチェックし、時には修正を加えて、市長の行う行政の方向性を決定します。

市長は、市会で議決された予算や条例に基づいて施策を行います。

市会と市長は、独立・対等の立場で、お互いに協力・けん制しながら、大阪市をより良くするために市政運営を行っています。

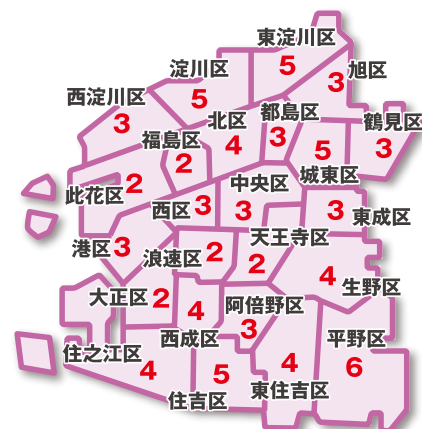
これを「二元代表制」といいます。



どちらも選挙で選ばれていますが、それぞれにどんな役割があるか知っていますか?

市民の代表 市会議員

大阪市会議員の定数は条例で83人となっています。区ごとに選挙されていますが、各区において選挙で選ばれる議員の数は人口に比例して割り当てられています。



※数字は各選挙区に割り当てられた議員数

各区の市会議員の名簿はこちらから